



マインドフルネス総合研究所のホームページで地方創生 SDGs 官民連携プラットフォームの会員として、パートナーシップのプログラムを公表し推進しています。

<http://mindfulness.jp/sdgs/mokuji-sdgs.htm>



Goal 10. 人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する

内面の成長のスキルをすべての人の SDGs の実現のために

マインドフルネス総合研究所で研究開発しているマインドフルネス SIMT(注1)は、広く深い心の観察、感情の反応のしかたのトレーニングを含むので、人が遂行するすべての営みに関係します。特に、17のゴールとの関係を述べます。

Goal 10. 人や国の不平等をなくそう
国内および国家間の格差を是正する

ターゲット

- 10.2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。
- 10.3 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。

蟹江憲史氏は、目標10について、こういう。

「目標10は不平等を少なくすることを掲げる。「だれ一人取り残されない」成長を求める SDGsは、目標1や目標5と並び、目標10で格差是正を呼びかける。」(p95)

「性別の格差」は、女性差別と関連がある。それは、目標8でも述べた。

<http://mindfulness.jp/sdgs/21-goal-8.pdf>

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/4749>

上記で、平塚らいてうについて述べたが、この人は、昭和の時代でも、戦前に、禅の深い哲学をもとに、性別にかかわらず、平等を主張した。これも、女性差別、女性蔑視が続く現代にこそ、研究成果を教育してほしいものと思う。私も研究不足ではあるが、多少発見したことがある。少々あげておく。

『元始、女性は太陽であった』

—『青鞞』発刊に際して（平塚らいてう全集、第一巻 14頁、1911、25歳）

らいてふたちは女性だけの雑誌『青鞞』を発刊したが、その冒頭に掲載した論文『元始、女性は太陽であった』は大反響を呼んだ。女性の自立、女性の間人としての解放宣言だった。

彼女の論文から一部を抜粋する。

◆女性よ、潜める天才性にめざめよ

「元始、女性は実に太陽であった。真正の人であった。今、女性は月である。他に依って生き、他の光りによって輝く、病人のような蒼白い顔の月である。」

「私どもは隠されてしまった我が太陽を今や取り戻さねばならぬ。」

「私ども女性もまた一人残らず潜める天才だ。天才の可能性だ。可能性はやがて実際の事実と変ずるに相違ない。ただ精神集中の欠乏のため、偉大なる能力をして、いつまでも空しく潜在せしめ、ついに顕在能力とすることなしに生涯を終るのはあまりに遺憾に堪えない。」

「真空なるが故に無尽蔵の智慧の宝の大倉庫である。いっさいの活力の源泉である。無始以来植物、動物、人類を経て無終に伝えらるべきいっさいの能力の福田である。ここは過去も未来もない、あるものはただこれ現在。ああ、潜める天才よ。我々の心の底の、奥底の情意の火焰の中なる「自然」の智慧の卵よ。全智全能性の「自然」の子供よ。」

要約すれば、平塚らいてうがいったのは、女性も潜める天才性に目覚めよ。天才とは、自分で自分を縛っているものから解放されたところに現前する自然の、本来の自己であるという。

以上が『青鞞』からの抜粋であるが、この文章について、らいてふは、後の自伝で、次のように総括する。

「一口にいえば、女というもののなかに非常に立派な神秘的なものが潜んでいるのに、隠されていて誰も気がつかない。ほんとうはみんなとても偉いんだから、周囲に構わず、個人として女が内部に持っている能力を大胆に打ち出してゆけば、そのうちほんとうの女が出てくるに違いない—というのが、私の女性哲学で

あつて、現在の女にはあきたりないけれども、女性の将来には、大きな可能性の潜んでいることを信じ、その一点にすべての希望をつないでいました。」

この女性哲学は禅からくる人間の根底の尊厳性、平等性からくる確信である。残念なことに、この深い哲学を現代の僧侶や学者も見落としているのではないか。

西田哲学も、根底の平等であることをいった。女性差別が続く現代だからこそ、平塚らいてうが指摘した禅の真意の解明が必要である。

◆Goal 4とも関連

これは、Goal 4とも関連する。教育のなかに、ジェンダー平等に関する哲学を含めてはどうだろうか。

【参考記事】

<https://blog.canpan.info/jitou/archive/2619>

★絶対の平等

(編集中です)

SIMT は、自己洞察瞑想療法である。Self Insight Meditation Therapy

参照: 大田健次郎(2013)『うつ・不安障害を治すマインドフルネス』佼成出版社

大田健次郎(2014)『不安、ストレスが消える心の鍛え方
——マインドフルネス入門』清流出版

ホームページでの紹介: [top](#) > マインドフルネス心理療法 SIMT とは

(注2) 「(Pxx)は、蟹江憲史(2020年)『SDGs(持続可能な開発目標)』のページを示す。